

# 大分県教育庁埋蔵文化財センター年報 1

2015

大分県教育庁埋蔵文化財センター

## 例 言

- 1 本書は、平成25年度に実施した埋蔵文化財の発掘調査、発掘調査調査資料の整理と報告書の刊行、普及啓発活動、石造文化財の分布調査、また発掘調査で蓄積された成果を元に、展示、パンフレットの刊行、学校での出前授業、当センターでの体験学習、あるいは考古学講座、普及・啓発活動の概要を掲載しています。
- 2 このほか、大分県内の埋蔵文化財行政の現況や、広く普及することを目的とした紀要を掲載しています。

## 例 言

### 目 次

第1章	平成25年度 大分県教育庁埋蔵文化財センターの事業実績	1
	(1) 発掘調査の推進	1
	(2) 整理・記録報告の推進（報告書の刊行）	2
	(3) 公開の推進	3
第2章	平成25年度の大分県埋蔵文化財保護行政の現状 文化課	9
第3章	紀要 中世大友府内町遺跡発掘調査報告 - 補遺 -	10

# 第1章 平成25年度 大分県教育庁埋蔵文化財センターの事業実績

## (1) 発掘調査の推進

平成25年度の発掘調査は、県関係の一般事業が2件、県関係の大型事業が2件、国土交通省・NEXCO関係の受託事業が4件であった。また県関係の開発に伴う立会・試掘・確認調査が27件で、県事業に関する分布調査が495ヶ所、県農林業関係分布調査が130ヶ所、大分県内石造物分布・実測調査が550件であった。

## A 本調査（7遺跡8件）

表1 一般事業

	事業主	事業名	遺跡名等	所在地	調査期間(現場)	調査面積	調査担当	主な時代	主な遺構・遺物
1	中津土木事務所	鍋島植野線	若旗遺跡	豊後高田市	平成25年5月20日 ～5月31日	408.9㎡	松本康弘	弥生～古墳	陥し穴・柱穴
2	玖珠土木事務所	玖珠山国線	志津里遺跡B地区6次	玖珠町	平成25年5月8日 ～5月17日	25.8㎡	松本康弘	古墳時代	横穴墓1基・須恵器

表2 大型事業

3	大分駅周辺総合整備事務所	庄の原佐野線	旧万寿寺遺跡7次	大分市	平成25年6月3日 ～平成26年1月10日	632㎡	吉田 寛	中世	溝・墓・銅銭一括出土遺構
4	県土地開発公社	玖珠工業団地造成	四日市遺跡12次	玖珠町	平成25年5月13日 ～平成26年1月21日	10,605.3㎡	後藤一重	弥生・古墳	住居跡・石棺・古墳

表3 受託事業

5	国土交通省(大分河川国道事務所)	国道57号大野竹田路	石田横穴墓1次	豊後大野市	平成25年9月17日 ～9月26日	345㎡	松本康弘	中世	横穴墓
6	国土交通省(別府港湾・空港整備事務所)	臨港道路中津港線	定留鬼塚遺跡2次	中津市	平成25年6月17日 ～8月5日	1,606.1㎡	小柳和宏	古墳時代	古墳
7	西日本高速道路(株)	東九州自動車道(県境一宇佐間)	諫山遺跡6次	中津市	平成25年6月27日 ～9月26日	2,335.8㎡	後藤晃一	縄文～近世	陥し穴・石棺・地下式土坑土器
8			諫山遺跡7次	中津市	平成25年9月10日 ～平成26年2月28日	2,808.3㎡	後藤晃一 坂本嘉弘	弥生～近世	竪穴住居跡・土器・石器

## B 分布・試掘・確認調査

表4 分布・試掘・確認調査（1202件）

	区分	件数	期間		備考
1	一般県道・県事業・県立学校等関係等添付立会・試掘・確認調査	27件	平成25年4月～平成26年3月	小林昭彦 原田昭一 松本康弘	
2	一般県事業関係等分布調査	495ヶ所	平成26年3月5日～3月14日	小林昭彦 原田昭一 松本康弘 他	平成25年度の立会・試掘・確認調査の対象件数は83ヶ所
3	農林業関係分布調査	130ヶ所	平成25年10月・12月	松本康弘 他	図面審査と現地調査 平成25年度の立会・試掘・確認調査の対象は26ヶ所
4	大分県内石造物分布・実測調査	550件	平成25年4月～平成26年3月	原田昭一 小柳和宏	現地確認と実測図作成

## (2) 整理・記録報告の推進（報告書の刊行）

発掘調査にかかる遺物の整理作業を継続して行った。また、発掘調査報告書は8冊を刊行することができた。この他、印刷物として平成25年度の国庫補助事業にかかる概報1冊、更に、年間の事業に関するまとめとして年報を1冊刊行した。

表5 平成25年度末までに刊行した印刷物

	報告書番号	遺跡名等	副題等	担当者	頁数
1	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書 第71集	西秣大迫遺跡・春畑遺跡・カシミ遺跡・今成遺跡・木内遺跡・丸尾城跡	東九州自動車道（県境～宇佐間）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(1)	小柳和宏 原田昭一 越智淳平	A 4 版 146頁
2	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書 第72集	榎牟礼遺跡天神ノ下地区・掃木地区	東九州自動車道（県境～県境間）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(2)	小柳和宏 越智淳平 高橋信武	A 4 版 191頁
3	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書 第73集	加原遺跡	中九州道（大野～竹田間）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(1)	小柳和宏	A 4 版 220頁
4	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書 第74集	古市下遺跡・古市上遺跡	中九州道（大野～竹田間）建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(2)	後藤一重 吉田 寛	A 4 版 202頁
5	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書 第75集	北屋敷ツル遺跡・石風呂遺跡・由布小学校遺跡	県道小狭間大分線道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	坂本嘉弘	A 4 版 180頁
6	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書 第76集	高畑遺跡 2	中津南高等学校教室棟改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	松本康弘	A 4 版 170頁
7	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書 第77集	志津里遺跡 B区 4～6次	県道玖珠山国線道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書(3)	小林昭彦 松本康弘	A 4 版 164頁
8	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書 第78集	大分県下古代中世石造物	大分中世石造遺物分布調査報告書 第2集 分布図・地名表編（中）	小柳和宏 原田昭一 松本康弘 坂本嘉弘 高橋信武	A 4 版 128項
9	大分県内遺跡発掘調査概報 17			原田昭一 松本康弘	A 4 版 9 頁
10	大分県埋蔵文化財年報22 (平成24年度のまとめ)			江田 豊	A 4 版 26頁



作成報告書等印刷物の写真

### (3) 公開の推進

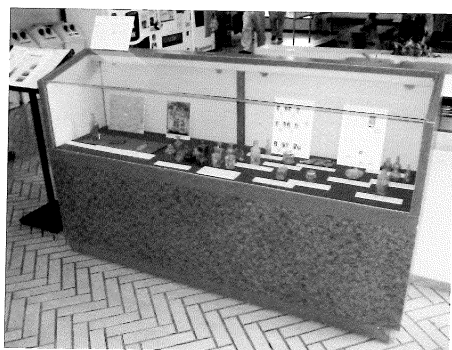
収蔵資料を企画展などにおいて一般公開するとともに、中学生の職業体験や出土遺物の貸出などを通じて学校との連携を図り、併せて一般県民を対象とした考古学講座を開催した。

#### A 展示

県庁別館、社会教育総合センター、大分県立図書館でのミニ企画展と大分県立先哲史料館での企画展を実施した。ミニ企画展は、「土の中に眠っていた歴史～発見！昔の道具たち～」・「掘り出された大友氏の町」を年間テーマとし、表6に示す内容で各館を巡回する形で行った。また大分県立先哲史料館を会場とする定期企画展は昭和57年度から東九州自動車道の建設に伴う発掘調査を31年間行ってきた成果を展示した。

表6 平成25年度開催の展示一覧表

開催月	県庁別館ミニ企画展 「土の中に眠っていた歴史～発見！昔の道具たち～」	社会教育総合センターミニ企画展 「土の中に眠っていた歴史～発見！昔の道具たち～」	図書館ミニ企画展 「掘り出された大友氏の町」	企画展 「東九州自動車道発掘絵巻」
4月	第1回	大河ドラマ「八重の桜」と銃弾	身近にあったガラス瓶	東九州自動車道発掘絵巻 平成25年12月7日 ～平成26年2月5日
5月	第2回	身近にあったガラス瓶	見上げてごらん！屋根の上を	
6月	第3回	見上げてごらん！屋根の上を	石材はどこから？	
7月	第4回	石器はどこから？	豊後府内の食生活	
8月	第5回	豊後府内の食生活	稲を刈る道具と伐採用の石斧	
9月	第6回	稲を刈る道具と伐採用の石斧	これは何？	
10月			南蛮貿易等の品々	
11月			茶の湯と香道	
12月			職人の街「豊後府内」	
1月			商人の街「豊後府内」	
2月			キリスト教と仏教	
3月			庶民のくらしと遊び	



ミニ企画展『身近にあったガラス瓶』  
県庁別館 6月～7月



ミニ企画展『職人の街 豊後府内』  
県立図書館 9月～10月



『身近にあったガラス瓶』  
社会教育総合センター 4月、5月



ミニ企画展『職人の街 豊後府内』  
県立図書館 11月～12月

大分県立図書館ミニ企画展 解説資料 No.1

### 掘り出された大友氏の町 ～商業貿易の品々～

はじめに  
商業貿易は、日本の商人とポルトガル・スペインの商人（南蛮人）との間で16世紀半ばから17世紀前半にかけて行われた貿易のことです。豊後国内（現在の大分県）では1510～1560年代にかけて5世紀にわたるポルトガル船の漂流記録があり、1570年代には大友宗直が中国南部や東南アジア方面に貿易船を何度も派遣したことが史料の上から推測できます。当時の豊後国内には大友の権威と軍事力でも商業の発展が促進されたと考えられます。

商業貿易で用いた瓦葺の石・甲冑の生産  
・造幣などの輸入も、日本から主に運出されました。豊後国内の瓦葺石瓦は高品質の産物で、造幣や印として使用された印籠の蓋や瓦といった陶磁器類が多量に出土します。陶磁器の産地としては甲田・備前やタイ・ハナム・ミャンマーなどの東南アジア各地におよび、様々な品類が輸入されています。

作られた豊後国内に輸入されました。最近では豊後国内から出土していた陶磁器のタイプ別出のインポート品であることが判明しています。上は現在の大分市の地図です。現在の市街地は江戸時代の豊後下町を基に拡大したものであり、明治時代までの市街地は今よりも小さく、豊後下町そのものでした。江戸時代の豊後下町の大分市は大分県内に特色を示した展開でした。

当時、我が国には磁器を作る技術がなかったので、磁器類は輸入されていました。また、鮮やかな華やかな色も輸入されていました。

出土品（左から）：青磁（磁器） 磁器（磁器） 磁器（磁器） 磁器（磁器）

左：華やかな華やかな色も輸入されていました。

（本県阿蘇郡の「瓦」出土の陶磁器類：重要文化財）

県庁別館ミニ企画展 解説資料 No.3 土の中に眠っていた歴史～発見！昔の道具たち～

### 「見上げてごらん！屋根の上を」

はじめに  
東島時代に備前平島から瓦の技術が伝来して以来、瓦は雨の多い我が国に定着しています。大分県庁のある大分市阿蘇郡は、瓦匠世家が数多く存在していますが、江戸時代には府内産の瓦多量に武家屋敷の工材として、江戸時代の初期には武家屋敷といつても瓦を置いている家数少くはなかったが、中期以降になると瓦葺の家を守ったり、火災を防止するために屋根の上に瓦が置かれることが一般的になりました。

今回は大分県教育庁歴史文化センターが所蔵する府内産三ノ丸瓦葺（県庁別館周辺）・府内産三ノ丸北陸（大分中央常盤宮前）の出土品から、江戸時代の城郭（府内城）や武家屋敷に置かれた江戸時代の瓦をご紹介します。

江戸時代前期の瓦（17世紀～…今から約400～300年前）  
軒平瓦の文様の中心飾りに「桐葉」や「三葉」を表現する唐草文が特徴です。これらは後田信長や豊後守が城郭の瓦として使った文様が変化したもので、16世紀の終わりから17世紀前半にかけて、全国的に流行します。府内産三ノ丸瓦葺出土の瓦も大分市周辺で作られた瓦と推定されますが、産地は現状では不明です。

江戸時代中期の瓦（17世紀終わりから18世紀初頭…今から約300～200年前）  
軒平瓦の文様の中心飾りに様々な文様があり、唐草文や唐草文が組み合わされたデザインが特徴です。府内産下町（大分市）や津和野・日田の城下町などに分布しています。【題名】「動ノ系」「動ノ系」など、瓦匠人と思われる人物の捺印を押し留めているものもあります。【題名】「動ノ系」は元禄12年（1699）に匠主山田守分（大分市出身）兼師匠の瓦を制作した「本村右左衛門」「高島助ノ系」のことである可能性が高く、佐賀県付近で生産された可能性があります。

（左）「動ノ系」の瓦（阿蘇郡阿蘇町） （右）「動ノ系」の瓦（阿蘇郡阿蘇町）

社会教育総合センターミニ企画展 解説資料 No.6 土の中に眠っていた歴史～発見！昔の道具たち～

### 「稲を刈る道具と伐採用の石斧」

はじめに  
今回の展示では、稲を刈る道具（石包丁）と伐採用の石斧を紹介いたします。古い道具の出土が、これらを使って行っていた様子を想像してみてください。

縄文時代の石斧  
縄文時代には砥石で磨き上げる技術が開発され、磨製石器が誕生しました。その代表例が磨製石斧です。蛇紋岩のような硬質の石の石斧を用い、刃先を鋭利（ハマツリ）の刃が磨き上がった状態のように左右対称に削り出し、刃先を鋭利に磨き上げていました。下取道跡（大分市野津地区）は縄文時代後期、約3,500年前の遺跡ですが、典型的な磨製石斧が出土しています。どれも破損するまで使われていました。

弥生時代の磨製石斧  
弥生時代にも縄文時代同様の石斧は各地で作られていたが、一部では石包丁や分厚い伐採用の石斧を専門にする集団が現れ、その製品が広域に流通するようになっています。代表例が立寄野石包丁（福岡県鹿耳市）と今山製石包丁石包丁（福岡県）です。

石包丁（稲を刈る道具）  
石包丁は弥生時代になって瀬戸内海から稲作技術に伴って渡来した石包丁です。稲作地域では各地で作られていますが、稲作地域で作られた石包丁はあざ色の凝灰岩を用いており識別は簡単です。九州北部に広く流通し、県内では筑前川流域や関門沿岸地域では一般的にみられます。大分県では西部地域の道野で出土例があり、瀬戸内海（或野）と佐賀県道野（谷田）の石包丁を提示しました。瀬戸内海は定置網、佐賀県は1漁が定置網、3点がおそらく地元産です。

立寄野の石包丁（取津町瀬戸道跡）

今山製石包丁の分布

立寄野石包丁の分布

弥生時代に広く流通した石包丁と石斧

県立図書館 5月～6月

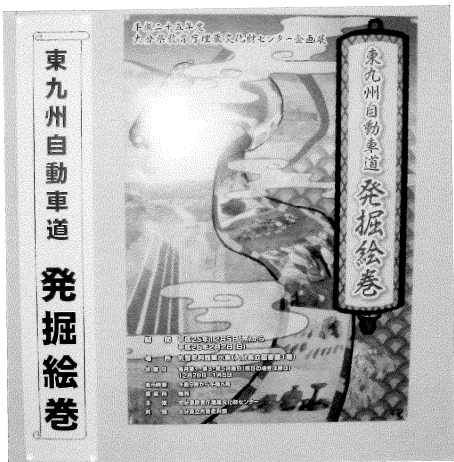
県庁別館 8月～9月

社会教育総合センター 2月～3月

平成25年度 ミニ企画展の解説資料（一部）



平成25年度企画展「東九州自動車道発掘絵巻展」 主催：埋蔵文化財センター 場所：先哲史料館  
入館者数：4145人



平成25年度企画展のポスター



平成25年度企画展の解説資料

## B 出前授業・講座・講師派遣

出前授業は、13校で実施し、受講者数は延222人であった。考古学講座は1回の現地説明会を含む3回実施し、延185人が受講した。講師派遣は様々な事業所からの依頼に伴い、当センター職員を派遣しているもので、当センター内や外部で行っている。講師派遣に伴う受講者数は265人である。

表7 出前授業・講座・講師派遣一覧

1	出前授業	平成25年4月17日(木)	講師：小柳和宏（補助者 五十川育代）	場所：杵築市立護江小学校	受講者数：16人
2	出前授業	平成25年5月1日(木)	講師：小林昭彦（補助者 高山 加代）	場所：杵築市立護江小学校	受講者数：11人
3	出前授業	平成25年5月7日(木)	講師：吉田 寛（補助者 古殿 鈴代）	場所：宇佐市立和間小学校	受講者数：28人
4	出前授業	平成25年5月9日(木)	講師：江田 豊（補助者 高山 加代）	場所：大分市立荏隈小学校	受講者数：73人
5	出前授業	平成25年5月13日(月)	講師：後藤晃一（補助者 高山 加代）	場所：佐伯市立切畑小学校	受講者数：10人
6	出前授業	平成25年5月16日(木)	講師：宮内克己（補助者 五十川育代）	場所：大分市立荷揚町小学校	受講者数：31人
7	出前授業	平成25年5月23日(月)	講師：後藤一重（補助者 高山 加代）	場所：玖珠町立古後小学校	受講者数：9人
8	出前授業	平成25年5月28日(木)	講師：小林昭彦（補助者 高山 加代）	場所：杵築市立山浦小学校	受講者数：5人
9	出前授業	平成25年5月29日(木)	講師：江田 豊（補助者 古殿 鈴代）	場所：中津市立城井小学校	受講者数：4人
10	出前授業	平成25年6月19日(木)	講師：松本康弘（補助者 五十川育代）	場所：豊後高田市立呉崎小学校	受講者数：5人
11	出前授業	平成25年11月18日(月)	講師：江田 豊（補助者 古殿 鈴代）	場所：大分県立爽風館高等学校	受講者数：10人
12	出前授業	平成25年12月17日(木)	講師：江田 豊（補助者 五十川育代）	場所：豊後高田市立呉崎小学校	受講者数：13人
13	出前授業	平成26年2月17日(月)	講師：江田 豊（補助者 高山 加代）	場所：ポランの広場（教育センター）	受講者数：7人
14	平成25年度 判田小学校歴史体験学習	平成25年6月6／7日		場所：埋蔵文化財センター	受講者数：155名
15	第1回 考古学講座	平成25年7月23日(木)		場所：埋蔵文化財センター	受講者数：53人
			「大分県の埋蔵文化財調査と保存の歩み」講師：宮内克己 「最近の埋蔵文化財調査成果」講師：小林昭彦		
16	第2回 考古学講座	平成25年10月5日(土)		場所：旧万寿寺跡第7次調査現地説明会	受講者数：103人
17	第3回 考古学講座	平成26年1月24日(金)		場所：先哲史料館展示室	受講者数：29人
			「平成25年度企画展 東九州自動車道発掘絵巻展示説明」講師：江田 豊 13：30～14：20		
18	講師派遣 「西南戦争についての講演会」	講師：高橋信武 主催：江藤産業株式会社			
	平成25年5月10日(金)		場所：トキハ会館5階	受講者数：60人	
19	講師派遣 「発掘品からたどるキリシタン文化と南蛮貿易～大友府内の発掘調査から～」	講師：後藤晃一			
	主催：大分市大南公民館 平成25年7月11日(木)		場所：大南公民館	受講者数：30人	
20	講師派遣「展示解説 掘り起こされた原始のふるさと」	講師：江田 豊			
	主催：大分県立社会教育総合センター 平成25年8月3日(土)		場所：埋蔵文化財センター	受講者数：30人	
21	講師派遣「展示解説 掘り起こされた原始のふるさと」	講師：宮内克己			
	主催：大分県立社会教育総合センター 平成25年8月3日(土)		場所：豊後大野市歴史民俗資料館	受講者数：30人	
22	講師派遣「展示解説 掘り起こされた原始のふるさと」	講師：江田 豊			
	主催：大分県立社会教育総合センター 平成25年8月17日(土)		場所：豊後大野市歴史民俗資料館	受講者数：30人	
23	展示解説・見学解説 きちょくれ埋文センター！				
	平成25年11月1日(金)～11月8日(金)		場所：埋蔵文化財センター	見学者数：13人	
24	講師派遣「展示解説 掘り起こされた中世のふるさとⅠ」	講師：原田昭一 主催：大分県立社会教育総合センター			
	平成25年12月7日(土)・平成26年1月18日(土)		場所：埋蔵文化財センター	受講者数：60人	
25	概要報告・遺物紹介 「中世大友府内町跡第11・72・80・88調査出土遺物の検討」	平成25年度「九州の近世陶磁」研究会			
	講師：吉田 寛 主催：九州国立博物館 平成25年1月30日(木)		場所：埋蔵文化財センター	参加者数：12人	

## C 研修・その他

当センターでは、「考古資料を用いた児童・生徒への体験」学習や教員研修を実施している。平成25年度は、下記の表のとおり15件実施した。延受講者数は243名であった。

表8 研修・見学一覧

1	教科研修	平成25年度 大分市小社研夏季研修会	平成25年8月8日(木)	場所：埋蔵文化財センター	受講者：35名
		初任者研修にかかる校外学習			
2	説明・展示見学	平成25年度体験合宿in大南	平成25年10月12/13日	場所：埋蔵文化財センター	受講者：38名
3	説明・展示見学	判田校区文化祭における施設見学	平成25年11月2/3日	場所：埋蔵文化財センター	受講者：23名
4	教科研修	中教研教科部会（西部地区社会科）	平成26年1月14日	場所：埋蔵文化財センター	受講者：23名
5	職場体験学習	上野ヶ丘中学校2年部	平成25年6月19日(木)	場所：旧万寿寺跡7次調査区	受講者：6名
6	職場体験学習	城東中学校2年部	平成25年6月26(木)・27日(木)	場所：旧万寿寺跡7次調査区	受講者：6名
7	職場体験学習	豊府中学校2年部	平成25年7月3日(木)/5日(木)	場所：埋蔵文化財センター	受講者：4名
8	職場体験学習	城東中学校2年部	平成25年6月26日(木)～28日(金)	場所：旧万寿寺跡7次調査区	受講者：3名
9	職場体験学習	判田中学校2年部	平成25年9月5日(木)～6日(金)	場所：埋蔵文化財センター	受講者：3名
10	職場体験学習	植田東中学校2年部	平成25年9月12日(木)/13日(金)	場所：埋蔵文化財センター	受講者：4名
11	職場体験学習	戸次中学校2年部	平成25年9月19日(木)/20日(金)	場所：埋蔵文化財センター	受講者：4名
12	職場体験学習	滝尾中学校2年部	平成25年9月19日(木)/20日(金)	場所：埋蔵文化財センター	受講者：4名
14	初任者研修	小学校教員	平成25年11月13日	講師：江田 豊 場所：教育センター	受講者：70名
15	初任者研修	特別支援学級教員	平成25年11月13日	講師：江田 豊 場所：教育センター	受講者：20名

## D 遺物貸出キット

当センターでは、社会科の授業における副教材として、各時代・各時期ごとの土器・石器を1セットにして箱にまとめ、遺物貸出キットとして貸し出しを行っている。

表9 「遺物貸出キット」貸出実績

1	大分市立東大分小学校	6年部	平成25年4月9日(木)	利用者数	93名
2	宇佐市立安心院小学校	6年部	平成25年4月18日(木)	利用者数	63名
3	豊後大野市立千歳小学校		平成25年4月19日(金)～同年5月9日(木)	利用者数	12名
4	大分市立大道小学校	6年部	平成25年4月30日(木)	利用者数	82名
5	大分県立高田高等学校	2/3年部	平成25年4月30日(木)	利用者数	63名
6	大分市立明野北小学校	6年部	平成25年5月4日(木)	利用者数	102名
7	中津市立今津小学校	6年部	平成25年5月15日(木)	利用者数	36名
8	大分市立明野西小学校	6年部	平成25年6月3日(月)	利用者数	102名
9	豊後大野市立三重第一小学校		平成25年6月12日(木)	利用者数	56名
10	豊後大野市歴史民俗資料館		平成25年6月12日(木)	利用者数	56名
11	大分市立戸次中学校	1年部	平成25年7月9日(木)～7月18日(木)	利用者数	100名
12	大分市立城南中学校	1年部	平成25年9月26日(木)～10月31日(木)	利用者数	141名
13	大分市立鶴崎中学校	1年部	平成25年11月11日(月)～11月28日(木)	利用者数	218名
14	豊後大野市立大野中学校		平成26年1月13日(月)～同年3月13日(木)	利用者数	30名





第1回考古学講座 H 25.7.23



第3回考古学講座 H 26.1.24



職業体験学習 大分市立城東中学校  
H 25.6.26



職業体験学習 大分市立豊府中学校  
H 25.7.3



出前授業 日田市立前津江小学校  
H 25.5.14



見学 大分市小社研 夏季研修会  
H 25.8.8

## E 所蔵埋蔵文化財の貸出

当センターは、所蔵する埋蔵文化財の有効活用を図るため、博物館等における展示や、研究機関の研究資料として貸し出している。近年の傾向として、テレビ放映等の影響もあって戦国時代の資料が出土した中世大友府内町跡出土資料の貸出が多い。

表10 所蔵資料の貸出実績

松木遺跡の遺物	期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日	九重町教育委員会
中世大友府内町跡出土の動物遺存体	期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日	松井 章（奈良文化財研究所）
中世大友府内町跡出土の遺物	期間：平成25年6月11日～平成25年11月22日	国立歴史民俗博物館
四日市遺跡・後迫遺跡・北の後遺跡・中世大友府内町跡・瀬戸墳墓群・佐寺横穴墓群の遺物と写真	期間：平成25年6月11日～平成25年11月22日	大分県立歴史博物館
中世大友府内町跡出土の遺物	期間：平成25年9月2日～平成25年11月29日	九州歴史資料館
中世大友府内町跡・中尾近世墓地出土の遺物	期間：平成25年6月11日～平成25年11月22日	分県立歴史博物館
中世大友府内町跡出土の遺物	期間：平成25年9月27日～平成25年12月14日	大分市教育委員会
縄文時代～古墳時代・細石刃の解説パネル	期間：平成25年12月17日～平成26年4月4日	豊後高田市教育委員会
中世大友府内町跡出土の遺物（メダイ等）	期間：平成26年2月4日～平成26年3月26日	大分県立図書館
尾畑遺跡出土の注口土器	期間：平成25年4月1日～平成27年3月31日	国立歴史民俗博物館

## F 資料調査

所蔵する埋蔵文化財の資料公開の一環として資料調査を受け入れており、本年度は6件あった。

表11 資料調査受け入れ実績

野村台遺跡・田代遺跡・上ノ原横穴墓群の古墳時代遺物	平成25年5月7日	長 直信（大分市教育委員会）
龍頭遺跡の網組製品	平成25年6月13日～平成26年6月14日	真邊 彩（鹿児島大学大学院生）
古国府遺跡群・二目川遺跡・中世大友府内町跡・上野町遺跡・竜王畑遺跡	平成25年7月25日	長 直信（大分市教育委員会）
森の木遺跡・岩鼻岩陰遺跡出土土器の炭化物採取	平成25年12月	遠部 慎（徳島大学）
中世大友府内町跡出土の彫三島手茶碗	平成25年11月29日	永井正浩（堺市文化財課）
中世大友府内町跡出土のガラス製品	平成26年2月27日	福井県立一乗谷朝倉氏資料館

## G 所員の埋蔵文化財普及・啓発活動

表12 研究成果の発表

平成25年6月22日	『日田の中世都市』坂本嘉弘 日田考古学会
平成26年2月22日	『アカホヤ直下の土器』高橋信武 九州縄文研究会大分大会

表13 印刷物（論文等）

高橋信武	2014「アカホヤ直下の土器」九州縄文研究会大分大会
------	----------------------------

表14 所外協力

原田昭一	平成26年2月6日 臼杵市内キリシタン遺跡調査指導委員 臼杵市教育委員会主催
------	--

## 第2章 平成25年度の大分県埋蔵文化財保護行政の現状

### (1) 発掘調査の動向

大分県内で平成25年度に届出等のあった件数は858件である。このうち、文化財保護法（以下、法という）第92条（学術研究）による届出は2件、法93条の届出（民間開発）は758件、法94条の通知（公共事業）は98件であった。平成24年度の届出等の件数と比較すると、法第93条は687件から71件の増、法94条の通知は、141件から43件の減である。民間開発はここ数年増加しており、要因として消費税増税を控えての住宅売買や、太陽光発電施設に伴う開発の増加が考えられる。

上記の届出等に対し、発掘調査を通知した件数は79件、工事立会は149件、慎重工事は483件、その他47件である。開発事業に伴う法第99条に基づく発掘調査の通知は55件で、平成24年度の51件とほぼ同数である。また、重要遺跡の範囲確認等の保存目的調査が14件、整備目的調査が2件である。また、大分県教育庁埋蔵文化財センターでは、古代・中世石造遺物の分布調査を実施しており、その成果として報告書『大分の中世石造遺物』第1集・分布図・地名表編（中）を刊行した。

### (2) 埋蔵文化財の普及・啓発及び文化財指定

埋蔵文化財の普及・啓発事業として、発掘調査成果を一般に公開する現地説明会や、資料館等での展示会やシンポジウム等が開催されている。大分県教育庁埋蔵文化財センターでは、大分県立先哲史料館展示室において企画展「東九州自動車道発掘絵巻」を開催した他、大分県庁別館、大分県立図書館、大分県社会教育総合センターでそれぞれロビー展示を行った。

埋蔵文化財や石造文化財等の文化財指定としては、平成26年3月18日の文化審議会において、大分県免ヶ平古墳出土品及び中津市耶馬溪町に所在する羅漢寺石仏を国の重要文化財に指定するよう、文部科学大臣に答申された（その後、共に平成26年8月21日付で重要文化財に指定）。また、平成26年2月14日付で玖珠町の岩室宝篋印塔が県の有形文化財、中津市の中津城跡が県の史跡に指定された。（大分県教育庁文化課）

表15 文化財保護法33条・34条届出等の市町村別内訳

市町村名	合計	法 93 条					法 94 条				
		総計	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	総計	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他
大 分 市	359	337	17	91	228	1	22	4	5	11	2
別 府 市	20	18	7	5	6	0	2	1	0	1	0
中 津 市	223	198	23	6	133	36	25	12	2	10	1
日 田 市	71	61	7	1	50	3	10	1	1	8	0
佐 伯 市	5	3	1	1	1	0	2	0	1	1	0
臼 杵 市	26	25	8	16	1	0	1	0	1	0	0
津 久 見 市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
竹 田 市	12	9	4	3	0	2	3	3	0	0	0
豊後高田市	6	3	0	0	3	0	3	1	1	1	0
杵 築 市	24	12	6	3	1	2	12	3	7	0	2
宇 佐 市	79	71	5	21	42	3	8	4	4	0	0
豊後大野市	13	7	0	1	6	0	6	1	0	5	0
由 布 市	13	13	0	1	12	0	0	0	0	0	0
国 東 市	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
姫 島 村	3	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0
日 出 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九 重 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玖 珠 町	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
合 計	856	758	79	149	483	47	98	30	26	37	5

### 第3章 所蔵資料集成・研究報告

#### 中世大友府内町遺跡発掘調査報告 一補遺一

##### 1 はじめに

大分駅周辺総合整備事業に伴う中世大友府内町跡の発掘調査は、1996年に大分市の区画整理事業関連から開始された。大分県教育委員会も1999年からJR高架事業、翌年から国道10号古国府拡幅事業、2003年からは県道庄の原佐野線建設事業に対応するために発掘調査を開始した。そして、報告書の刊行も2004年から発掘調査と同時進行で行われる慌ただしいものであった。このため、報告書に掲載漏れや、誤報告などの事態が生じてしまった。そこで、これらを補い、修正する意図で、報告を行う。

##### 2 出土遺物

今回は、第2・3図に図示した貿易陶磁器と金属製品の報告を行う。1～4は華南三彩である。1は琴高仙人、2は駱駝の雰囲気を持つ水滴である。3は神像の台である。4は11次調査出土で、隣接する唐人町の14次調査区出土資料と同一個体の可能性が高い鳥形水注の台である。5はハンネラ土器であるが、すでに31次調査出土と報告されているが、36次調査の出土である。同調査区からは東南アジアの捏ね白であるクロックが出土している。6は朝鮮王朝製の茶碗である。透明釉で覆われ、釉溜りは白色化している。目跡は見込みと高台に8ヶ所付く。

7～9はメダイである。府内型メダイである7は表面が窪み内面に斜めに細い筋が入る。外面には十字状の窪みが観察される。8は両面に陽刻された文字状の高まりが残る。紐の孔は不明である。9は紐部分を欠く青銅製のメダイである。

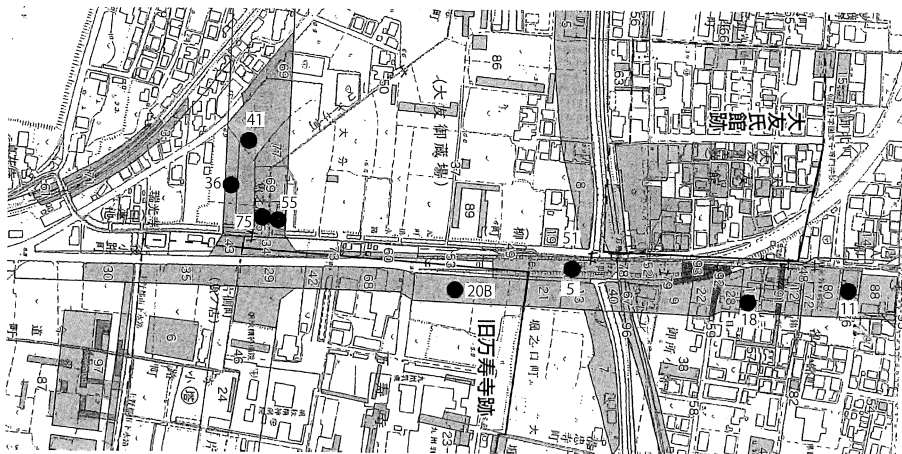
10～13はガラスの小玉である。重さは0.1gでビーズ状であるが、10・11は白状、12は二段重ね状、13は高さが他に比較すると高く、一様でない。

14・15は繭形分銅である。平面形は類似するが、厚さは15が14の倍あり、重量差を出している。15の表面には刃の異字体が刻まれている。

16・17は鍵である。16は紐孔がある断面六角形の頭部分のみである。17は和錠の鍵であるが、先端部を欠いている。

18は鉄砲の鉛弾である。

19～23は不明青銅製品である。19は楕円形で内部が空洞になっており、中央に円形、上位に二段重ねの円形突起がある。20は木の葉型の平面に二カ所孔が開けられた製品であるが、重量感がある。21は半球形の厚さが薄い製品である。22は先端が尖る製品での端部で、中に木質が残る。23は筒状をした小さな製品の端部である。縁はやや厚味を増している。



第1図 中世大友府内町跡 補遺 遺物掲載調査区位置図 (右が北)



第2図 中世大友府内町跡出土遺物 (1)

24～27は金属製容器である。24は鉄製である。25～27は器壁が薄く、錆もほとんどない銅製碗である。28は青銅製の鏡に鉄釘が熔着している。和鏡の直径は約12cmで、紐も確認できる。鏡面には唐草文状の文様がある。鉄釘の断面は方形で、大型である。

29～31は小柄で、鉄の刀身を青銅で巻いている。29は完全に包まれており、折れた刀身部分がさびている。これに対し、20の遺存状況は悪い。また、31の柄尻は薄く篋状に仕上げている。

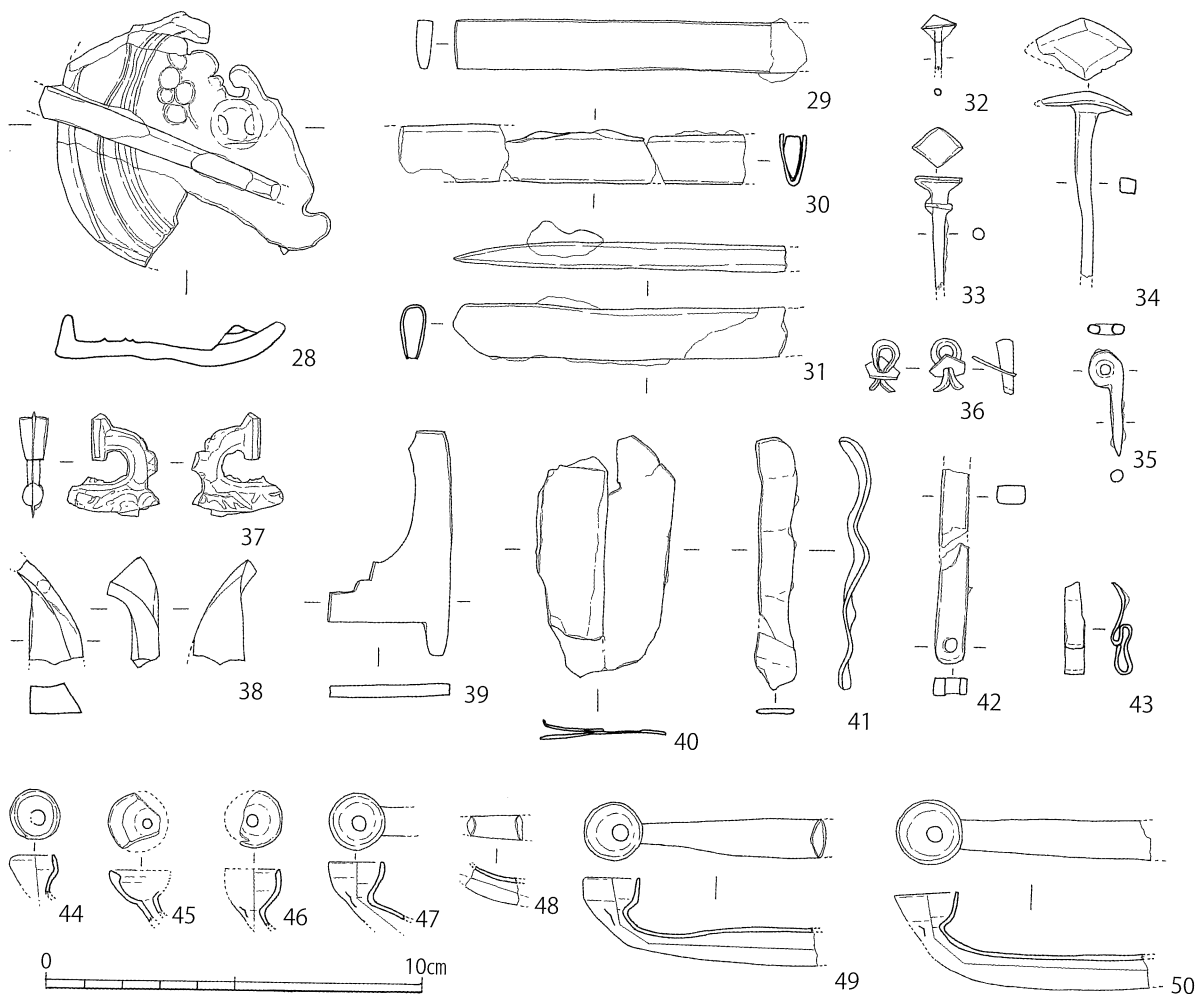
32～34は青銅製の鉞である。いずれも先端を書くが断面は32・33が円形、34は方形である。頭部は平面形を菱形に整えており、飾り金具の様相である。35も先端が尖るため鉞と考えるが、頭部が環状になっている。また、36は板状の部分に割りピン状の金具が付いている。

37も青銅の鑄造製品で、複雑な文様がある。周辺にはバリが付き、鑄型を想定する。

38～40は板状青銅製品である。38は折り曲げた部分に弧を描く稜線が形成されている。39は先端がねじれている。40は銅成分の多い二枚の薄い青銅製板材が接合されている。

41～43は棒状青銅製品である。41は波打ったように加工されている。42は基部に孔が開けられた比較的厚い製品である。43は細く薄い素材を幾重にも折り曲げている。

44～50は18次調査東区で出土した煙管である。出土位置は、重機により近世水田面を除去後に表れる包含層・整地層を掘削し始めたところである。また、本遺跡の存続時期は17世紀までと想定されることから、江戸時代前期と考える。



第3図 中世大友府内町跡出土遺物 (2)

### 3 まとめ

中世大友府内町跡の発掘調査は2014年度現在も継続しており、県・市あわせて調査次数は100次を越し、県教育委員会の報告書のシリーズ「豊後府内」は18まで、刊行されている。発掘調査で出土した膨大な資料は、調査者の判断で、良好な遺存状態・出土遺構の状況・稀少資料を中心に報告をしてきた。今回補遺として報告したものは、こうした判断からも掲載しなければならなかったものである。また、未報告資料の中にも、見落としや、現在では研究視点の対象となっていないものがあることも十分想定できる。そうした意味からも、出土資料は全て重要であることは言うまでもない。

なお、第16表の補遺掲載出土遺物一覧表の末尾の報告書名豊後府内の番号は、本来そこに掲載されるべきであったシリーズ番号で、共伴遺物や検出遺構の状況を参考にしていきたい。(坂本嘉弘)

表16 中世大友府内町跡出土遺物一覧

挿図番号	遺物番号	調査次数	出土位置	時期	名称	生産地	法量・寸法 cm			備考	報告書名 豊後府内		
							口径	器高	底径				
第2図	1	20次B	K-43一括		華南三彩水滴	中国南部				琴高仙人の鯉の口部	7		
	2	41次			華南三彩水注	中国南部				駱駝形水滴?	16-1		
	3	75次	S-052	16世紀後葉	華南三彩神像	中国南部			幅8.3×前後7.6	神像台座	4-2		
	4	11次	SD-044	16世紀後葉	華南三彩	中国南部				鳥形水注	17-1		
	5	36次		16世紀後葉	ハンネラ土器	タイ				31次調査SE1を36次調査	9		
	6	41次	S-18	1575年前後	碗	朝鮮王朝	16.0	5.8	5.5	目跡8箇所	16-1		
						素材	法量・寸法 cm・g			備考			
							長さ	幅	厚さ	重量			
		7	51次	街路第1面	1590年以降	メダイ	純鉛	2.1	1.7	0.3	3.9	鉛はタイ・ソントー鉾山産	15
		8	51次	SD-200	1575年前後	メダイ	純鉛	1.9	1.4	0.5	6.2		15
		9	51次	SX-345町屋整地層	1576年前後	メダイ	鉛+錫	1.7+	1.7	0.3	3.6+	鉛はタイ・ソントー鉾山産	15
		10	51次	S-040	16世紀後葉	ガラス小玉	ガラス	0.4	0.4	0.2	0.1		15
		11	18次東	L-14		ガラス小玉	ガラス	0.4	0.4	0.3	0.1		4-2
		12	18次東	L・K-13・14上層		ガラス小玉	ガラス	0.4	0.4	0.3	0.1		4-2
		13	18次東	L-15		ガラス小玉	ガラス	0.4	0.4	0.5	0.1		4-2
		14	55次	F-60 IV層		分銅	銅	1.3	0.9	0.4	1.7		9
		15	51次	I-41		分銅	銅	1.5	0.9	0.6	5.1	刃の異字体印刻	15
		16	18次東	L-15		鍵	青銅	1.6+	1.1	0.9	2.1+	基部の紐孔に植物質あり	4-2
		17	18次東	L-14		鍵	青銅	4.0+	3.1	1.1	18.0+		4-2
		18	18次東	K-17		鉄砲鉛玉	鉛	1.2	1.2	1.2	8.8		4-2
		19	18次東	L-15 II～III層		中空青銅製品	青銅	2.5	2.0	0.7	2.6+		4-2
		20	51次	S-200	1575年前後	不明金具	青銅	3.3	1.0	0.5	4.2		15
		21	51次	J-37		中空青銅製品	青銅	1.9	1.2	0.1	2.1+		15
		22	18次東	K-16		中空青銅製品	青銅	1.0+	1.1+	0.1	2.0+		4-2
		23	18次東	L-14地山直上		中空青銅製品	青銅	2.0+	0.7	0.1	1.0+	中に木質	4-2
		24	51次	S-200 焼土中	1586年前後	鉄製環	鉄	—	—	—	—	口径11.2cm	15
		25	18次東	L-14		青銅製碗	銅	—	—	0.1	—	遺構検出面	4-2
	26	18次東	L-16		青銅製碗	銅	—	—	0.1	—		4-2	
	27	18次東	L-15 II～III層		青銅製碗	銅	—	—	0.1	—		4-2	
第3図	28	51次	J-39 整地層		和鏡・綴釘	青銅	—	—	—	66.5+	鉄釘錆付き 鏡面径12.0cm	15	
	29	18次東	L-14		刀子の小柄	青銅+鉄	9.0+	1.2	0.4	24.1+	刀身は鉄	4-2	
	30	18次東	K-14 IV～V層		刀子の小柄	青銅+鉄	9.0+	1.3	0.7	23.5+	刀身は鉄	4-2	
	31	51次	S-200	1575年前後	刀子の小柄	青銅+鉄	9.0+	1.3	0.7	11.8+	刀身は鉄	15	
	32	18次東	L-15 上層		青銅製ピン	青銅	2.5+	1.0+	0.8	0.1+	厚さは上面短幅	4-2	
	33	51次	S-012 第2南北街路	1590年以降	青銅製ピン	青銅	3.0+	1.4	1.1	2.0+	厚さは上面短幅	15	
	34	51次	S-200 焼土中	1586年前後	青銅製ピン	青銅	5.0+	2.5+	1.6	4.5+	厚さは上面短幅	15	
	35	18次東	L-14		青銅製ピン	青銅	2.8	1.9	0.3	1.2		4-2	
	36	18次東	K-16		青銅製割ピン	青銅	1.4+	0.8	0.1	1.4+		4-2	
	37	18次東	L-15 IV層		鑄造青銅製品	青銅	2.8	2.5	0.7	6.6	鑄造製品	4-2	
	38	18次東	H-14 断面		板状青銅製品	青銅	2.7+	1.5+	0.8	15.2+	破片	4-2	
	39	18次東	K-15 III～IV層		板状青銅製品	青銅	6.0+	3.2+	0.3	14.0+	上端は若干ねじれる 破片	4-2	
	40	51次	S-200 焼土中	1586年前後	板状青銅製品	青銅	6.3+	3.5+	0.1	11.9+	銅成分が多い	15	
	41	51次	S-200	1575年前後	板状青銅製品	青銅	6.7+	1.0	0.2	3.8+		15	
	42	18次東	S-54		棒状青銅製品	青銅	5.0+	0.8	0.5	7.1+		4-2	
	43	51次	S-040	16世紀後葉	板状青銅製品	青銅	2.4+	0.5	0.1	1.0+		15	
	44	18次東	K-14 II～III層		煙管雁首	青銅	—	—	—	—		4-2	
	45	18次東	K-15 III層		煙管雁首	青銅	—	—	—	—		4-2	
	46	18次東	K-16		煙管雁首	青銅	—	—	—	—		4-2	
	47	18次東	K-14 II～III層		煙管雁首	青銅	—	—	—	—		4-2	
	48	18次東	L-14 III層		煙管雁首	青銅	—	—	—	—		4-2	
	49	18次東	L-15 II～III層		煙管雁首	青銅	—	—	—	—		4-2	
	50	18次東	中央断割り		煙管雁首	青銅	—	—	—	—		4-2	

写真図版 中世大友府内町跡出土遺物





大分県教育庁埋蔵文化財センター年報 1

平成27年(2015)3月31日 発行

編集・発行者

〒870-1113 大分市大字中判田ビワノ門1977番地  
TEL 097-597-5675

印刷 株式会社 双 林 社

〒870-0048 大分市碩田町2-2-13  
TEL 097-536-4111